

古賀みらいサマーミーティング

報告

第8回策定委員会 平成27年10月21日(水)



「古賀みらいサマーミーティング」の概要（1）

○目的

全市民のものとなる自治基本条例を、早い時期からより多くの市民と対話しながら検討していくために開催

○プログラム

1. わたしたちの紹介、今日の目的
2. 話題提供
3. 対話の時間
 - ・まちづくりのキーワード
 - ・この地域がより住みやすい地域であるために
4. グループ発表
5. おわりに

「古賀みらいサマーミーティング」の概要（2）

○実施概要（各校区の日程・会場・参加者数）

校区	日時	会場	参加者数 (うち委員)
舞の里	8月28日(金) 19:00~20:30	舞の里小学校	29(8)名
古賀東	8月29日(土) 10:00~11:30	古賀市公民館久保分館	35(4)名
花鶴	8月29日(土) 19:00~20:30	古賀東区公民館	35(4)名
花見	8月30日(日) 19:00~20:30	花見東一区自治公民館	42(4)名
小野	8月31日(月) 19:30~21:00	谷山区公民館	42(6)名
青柳	9月4日(金) 19:00~20:30	青柳区公民館	31(5)名
千鳥	9月5日(土) 19:00~20:30	古賀市社会福祉センター千鳥苑	46(6)名
古賀西	9月7日(月) 19:00~20:30	古賀北区公民館	42(6)名

合計:302(43)名

舞の里校区 8月28日(金)

○活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

- よいところがたくさんある

豊かな自然、農業、住環境、意欲のある多様な人材など

- 親密な近所づきあい

- しがらみがない



(解決したいこと)

- ⇔ • 共有されていない
- 活かされていない
- 活かす仕組みや発想がない
- 市民の意欲を活かすシステム（仕組み）が必要

- ⇔ • 共働が少ない
- 少子高齢化

- ⇔ • 歴史が浅い

- 古賀市としての「よいまち」の定義

古賀東校区 8月29日(土)

○活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

- 行政区等での地域活動が盛ん ⇔ 世代間交流も活発
地域や古賀市を真剣に考える人が多い

- 自然(海、山、川)も歴史も豊か ⇔ 技術力を持つ企業や食品加工団地

- 広域の交通の利便性が良い ⇔

(解決したいこと)

- 高齢化し、役員のなり手がいない
- 自治会加入率の低下や横のつながりの減少
- 行政区とコミュニティの二重構造
- 地域の課題や解決策の共有

- 観光地としてPR不足
- まちの魅力が磨かれていない

- 地域の交通は不便

- 空家の増加

- 子どもの遊び場が少ない。地域公民館の活用を



花鶴校区 8月29日(土)

○活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

• 自然環境、歴史遺産 ⇔

• 地域の人をつながりがある ⇔
ボランティア・地域活動が活発
自由な発想や意見は言いやすい
地区ごとに個性ある行事

• ハブ（幹）は充実 ⇔

大きなハコモノは人口の割に充実 ⇔
大動脈（国道・JRなど）は通っている ⇔

(解決したいこと)

• 利用できていない

• 役員の固定化、高齢化
• 若い人の地域活動への関心や参加が低い

• 古賀を知る機会が少ない（転入者）

• スポーク（枝）が弱い

歩いていける身近な施設が充実していない
毛細血管（バスなど）が不便

• 地域の公園が荒れている。行政任せにせず、自分たちで高齢者の楽しみ
の場として整備してはどうか



花見校区 8月30日(日)

○活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

• 自然が多い(山、海、松林) ⇔

• 企業・病院が身近にある
技術を持つ企業、食品加工団地

• 地域活動、ボランティア活動 ⇔
がさかん
地域のまとまりがよい
住みやすい



• 交通の便がよい ⇔

(解決したいこと)

• 近所に大きな公園や子どもが遊べる広場がない

• 知られていない、アピールが必要

• 若い人の参加が少ない
• 校区同士の交流が少ない
• 自治会未加入世帯の増加
• 高齢化、特に、独居高齢者の増加
⇒校区コミュニティの後継者不足

• 車がないと生活できない

小野校区 8月31日(月)

○活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

- 自然が豊か(川、ホテル、浜の夕日) ⇔ 歴史、豊かな自然に根付いた伝統行事

- 産業～出荷額県内2位

- 地域住民のつながり
人の交流が豊か、人があたたかい
多世代同居が多い



- 自動車交通が便利な住環境

(解決したいこと)

- PRが必要

- ⇔ • PRが必要

- ⇔ • 自治会への理解不足、加入する世帯の減少

- 世話役、役員のなり手が少ない
- 市から自治会へ依頼される業務の増加

- 高齢化、独居高齢者が増加

⇒耕作放棄地の増加と農業後継者問題

- バスなど公共交通

- 要望を出す場がない

- 「内なる分権」行政から地域でやれることを分割し、地域がやれることを拡大

青柳校区 9月4日(金)

〇活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

- 自然が多い、価値ある歴史遺産
工業団地

- 地域のつながりが濃い
- 自治会活動が活発
- 地域の伝統行事を核とした
地域コミュニティ

- 風土を活かした子育て環境
地域が子どもを育てる環境

- 車による交通の便が良い
- 新宮・福津など周辺が栄えて
いて便利

(解決したいこと)

- 古賀を代表するブランドが欲しい

- ⇔
- 新住民の組合加入が少ない。防災対応が
難しい
- 市街化調整区域があり、人が入って
来られない

- 子どもの数が少ない
- 保育所が少ない

- ⇔
- 車がないと移動できない

- 農業後継者不足



千鳥校区 9月5日(土)

○活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

(解決したいこと)

• 自然が多い(山と海)
産物(農業、野菜)、食品工業団地

⇔

• 観光資源を活かす

• 地域活動が活発
地域住民の仲が良い
高齢者と子どもの交流がある

⇔

• 自治会をやめる世帯がいる
• 学校行事に参加する保護者が少ない
• 行政区長会は平日昼間⇒現役世代が区長になれない
• 独居高齢者が増加⇒民生委員、役員が大変

• 広域交通は便利

⇔

• バス路線、本数が少ない



• 空き家の増加(空き家の活用が必要)

• 子どもの遊び場や公園が少ない

• 行政の動きがわからない

古賀西校区 9月7日(月)

○活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

- 自然が豊か（海、山、温泉など）⇔
食品加工団地

- 人が優しい、地域のつながり
みんなが関わる行事が多い
子どもたちを思う活動

- 交通の便が良い
JR、国道3号、495号、高速

- 優れた地域医療体制

(解決したいこと)

- 自然を守る体制、特色を生かす

- 自治会役員のなり手不足
- 高齢化、外へ出ない方との交流

- 市内の交通
- まちの活気、古賀駅周辺がさみしい
- 買物するところが少ない

- 古賀の事を古賀の人が知らない
- 行政、校区、自治会のやるべきことを考える
- 年長者多数でルールを決めてはいけない
- 市民、議会、行政が意見、知恵を出し
合うまちづくり



各校区に共通したテーマ

○活かしたいよいところ・解決したいこと

(活かしたいよいところ)

• 豊かな自然、歴史、伝統行事 ⇔
技術を持った企業、食品加工団地

• 地域活動が活発、行事が多い ⇔
人のつながりがある

• 広域交通は便利 ⇔

(解決したいこと)

• よいところをPRする
• 資源を活かす

• 自治会役員のなり手が不足
• 若い世帯や新住民の参加
• 少子高齢化

• 域内の公共交通は不便

• 古賀駅周辺の活性化

• 空家の増加

「古賀みらいサマーミーティング」を終えて

始まるまでは不安だらけという方が多かったと思いますが、委員のみなさんのがんばりで延べ300人を超えるたくさんの方々が集い、これからの古賀市の自治基本条例づくりにつながる有意義な対話の場をつくることのできたのではないのでしょうか。

サマーミーティングの成果をこれからの条例案づくりに活かしていきましょう。